

4 誰もが暮らしやすい圏域

1 世界に開かれた
圏域の形

2 国際的産業・技術の
創造圏域

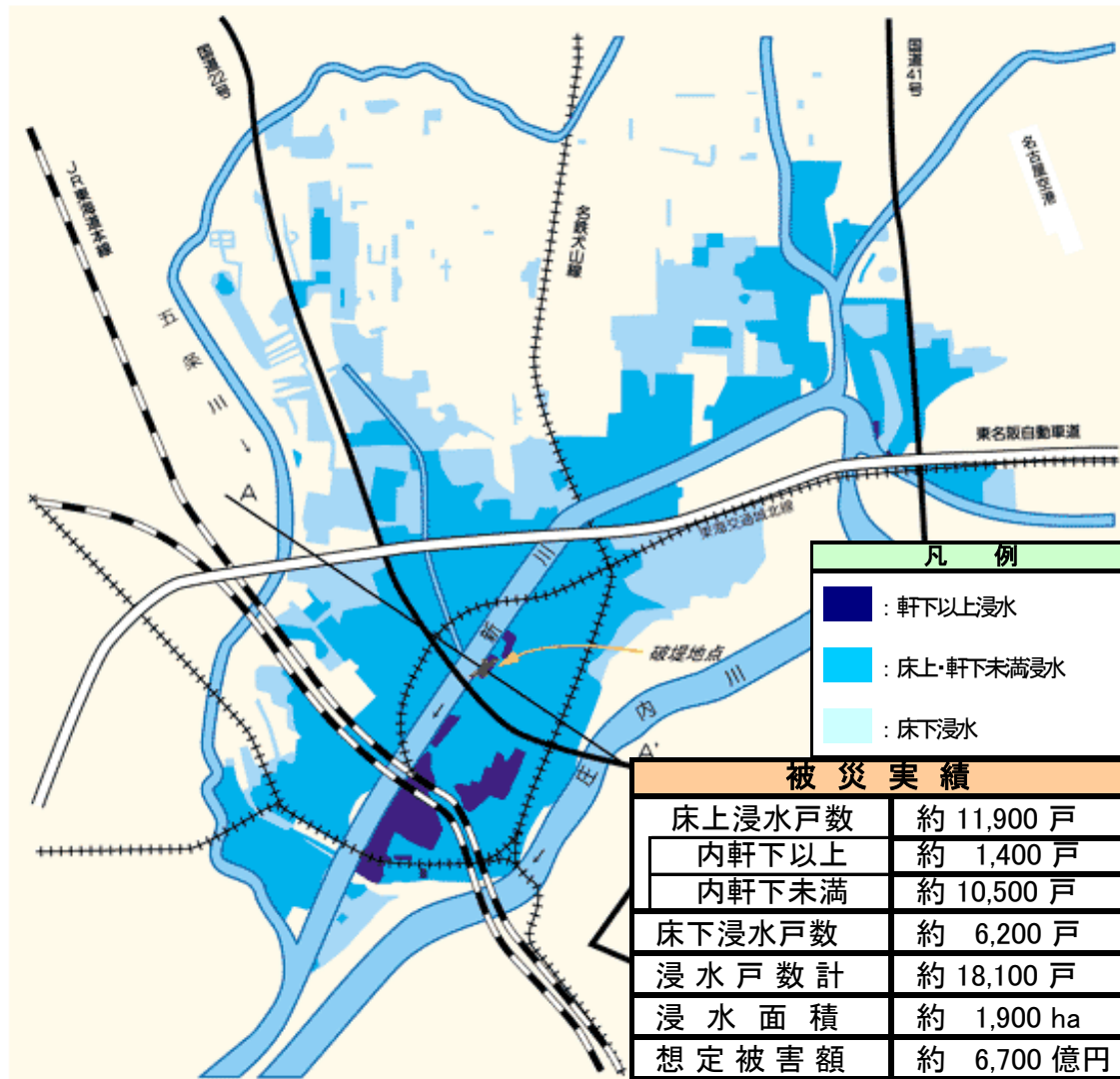
4 誰もが暮らし
やすい圏域

3 「美しい中部圏」
の創出

4 誰もが暮らしやすい圏域(主要課題)①

東海豪雨(平成12年)浸水被害(庄内川・新川)の状況

●被災実績



被災実績

床上浸水戸数:
約11,900戸
床下浸水実戸数:
約6,200戸
想定被害額:
約6,700億円



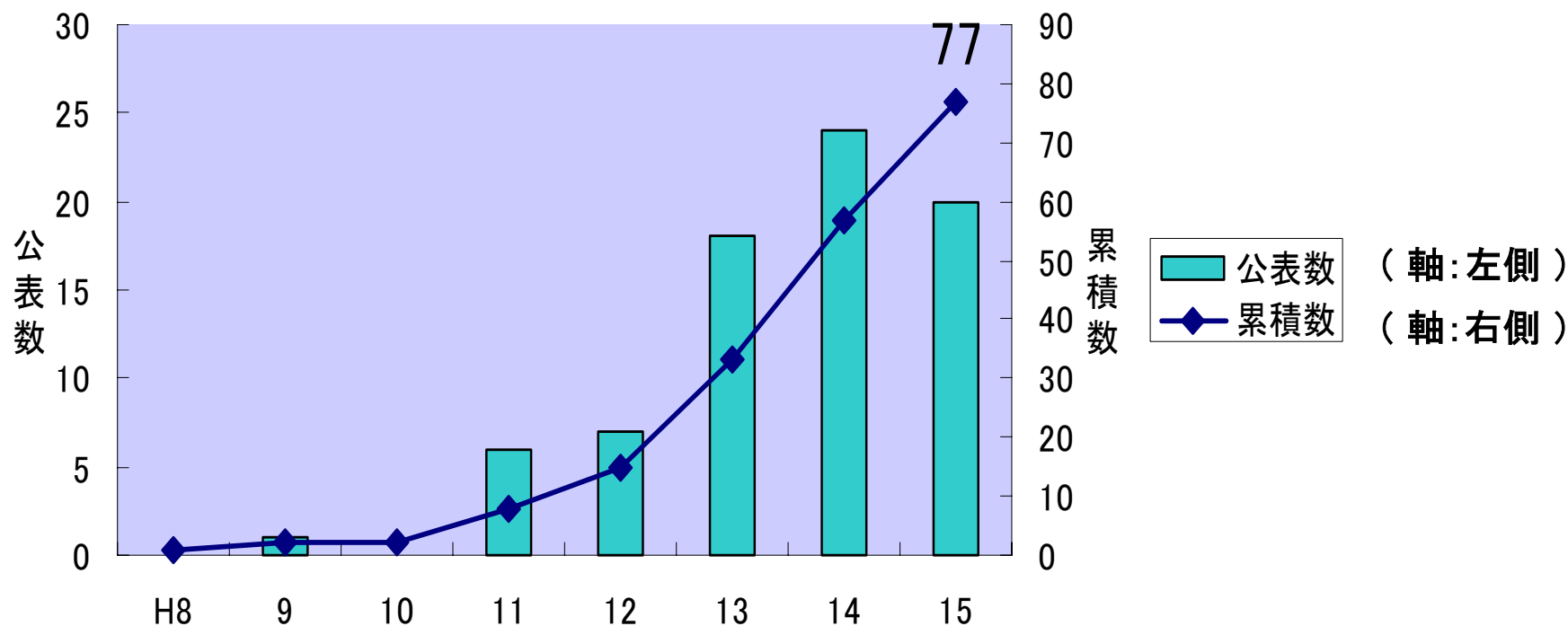
対策事業後の推定被害

床上浸水戸数:
約1,100戸
床下浸水戸数:
約8,600戸
想定被害額:
約1,200億円

洪水ハザードマップの公表状況

洪水ハザードマップの公表自治体数は着実に増加している。

洪水ハザードマップ公表自治体数



資料:国土交通省河川局資料により国土交通省国土計画局作成

東海地震災害被害想定

死者:約7,900~9,200人^{※1}

全壊家屋:約23万棟^{※2}

経済損失:約37兆円^{※3}

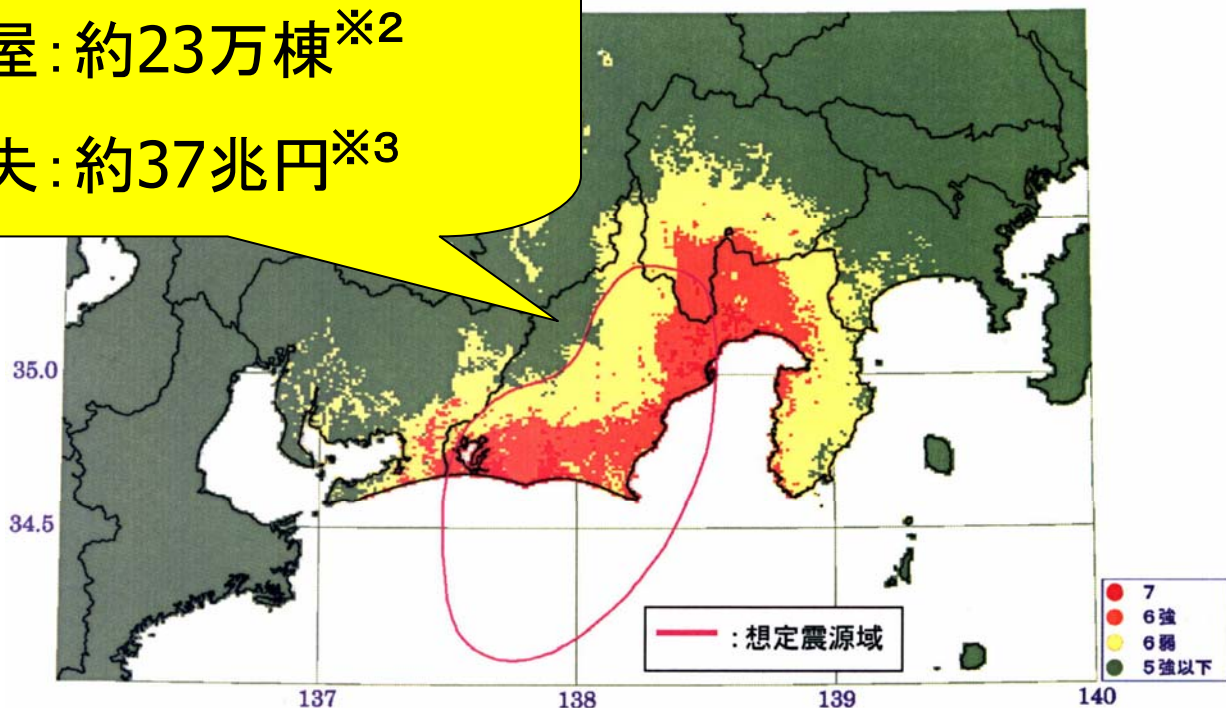



図1 東海地震の新たな想定震源域と震度分布

※1 朝5時発生の場合

※2 風速3mの場合

※3 予知なしの場合

資料:中央防災会議(平成15年3月18日資料)により国土交通省国土計画局作成

- 
- 洪水や地震災害等の発生時の諸機能の代替性を確保し、安全で安心な生活を実現できる場の形成を目指す
 - 性別・年齢にかかわらず、誰もが個人のライフスタイル等に合わせて生活様式を選択できる圏域

徳山ダム建設事業

- 事業主体: 水資源機構

- 総事業費: 約 3,500 億円

- 事業内容: 洪水調節

利水(水道用水、工業用水)

流水の正常な機能の維持

- 平成16年度事業内容:

本体盛立、洪水吐きコンクリート等

- 経緯・予定:

昭和46年度 実施計画調査着手

昭和47年度 建設事業着手

平成19年度 完成予定



大野川(床上浸水対策特別緊急事業)

- 事業主体:石川県
- 総事業費:約23億円
- 平成16年度事業費:4.5億円
(うち国費約2.3億円)

事業内容:

築堤、護岸整備

平成16年度事業内容:

築堤工、護岸工、補償

経緯・予定:

平成10年9月 浸水被害(台風7号)

平成13年度 事業着手

平成16年度 完了予定



4 誰もが暮らしやすい圏域(主要事業)③

庄内川・新川・天白川(河川激甚災害対策特別緊急事業)

事業主体: 国、愛知県

総事業費: 約993億円(3河川合計)

平成16年度事業費: 約257億円
(うち国費約152.6億円)

事業内容:

河道掘削、築堤工事等により、再度の災害を防止する。

平成16年度事業内容:

築堤護岸、堤防強化、河道掘削 等

経緯・予定:

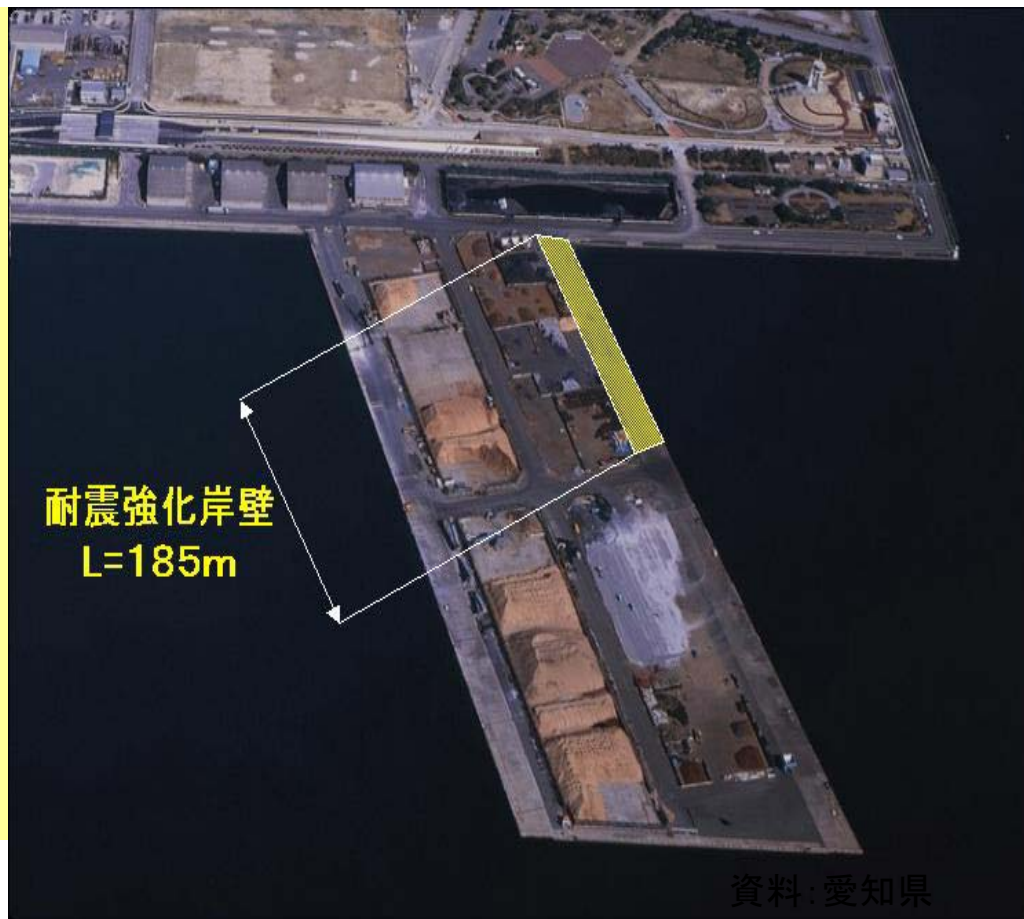
平成12年9月 浸水被害(東海豪雨)

平成12年度事業着手
(平成16年度完了予定)



耐震強化岸壁の整備(衣浦港)

- 事業主体:愛知県
- 総事業費:32億円
- 岸壁水深:-10m
- 岸壁延長:185m
- 経緯・予定
平成16年度 着工
平成22年度 完成予定



4 誰もが暮らしやすい圏域(主要事業)⑤

納屋橋西(市街地再開発事業)

■ 事業主体:都市再生機構

■ 地区面積:0.7ha

■ 建築物の主な用途:

住宅(371戸)、店舗、業務施設

公益施設、駐車場

■ 事業期間:平成4年度～平成18年度

■ 総事業費:164億円

■ 平成16年度事業費:

約23億円(うち国費約3億円)

■ 平成16年度事業内容:

調査設計計画、土地整備、建築工事

資料:都市再生機構

